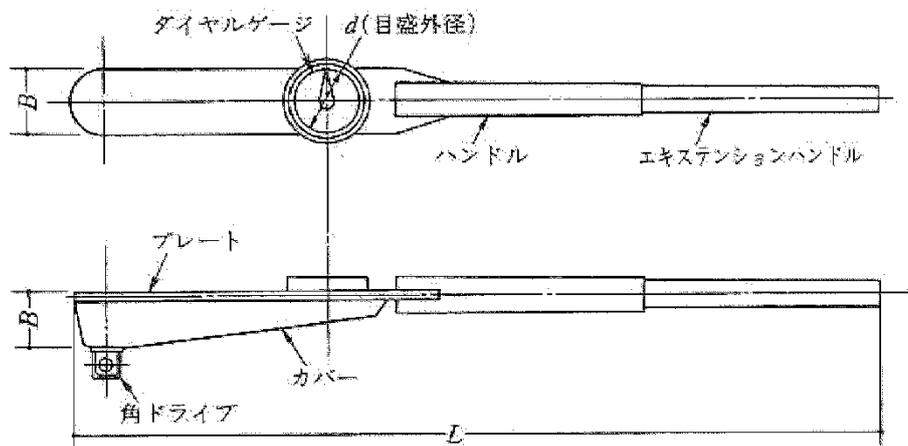
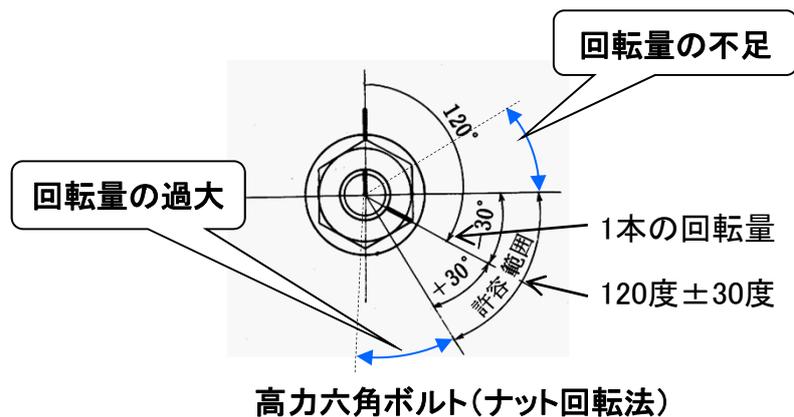


鉄骨工事 Q&A	高力ボルト接合	高力六角ボルト	制定	2011年7月1日
			改訂	2019年4月1日

Q. 高力六角ボルトの締付け方法には2種類あるが、ボルト群の中で併用していいか？

A.

トルクコントロール法とナット回転法の2種類ありますが、二つの締付けの原理が違います。締付け後の検査においては、トルクコントロール法の場合は締付けトルク値のばらつきで確認し、ナット回転法の場合は1本毎の回転量で確認します。従って、併用は避けた方が無難と考えます。



施工前に締付け機のキャリブレーションを行い、標準ボルト張力導入のための基準となる締付けトルクを設定する。施工後のボルトをダイヤル形トルクレンチを使用してトルク値を測定し、設定された平均トルク値±10%以内を合格とする。

高力六角ボルト(トルクコントロール法)

出典：(一社)日本建築学会_建築工事標準仕様書 JASS6 鉄骨工事、2018
(一社)日本建築学会_高力ボルト接合設計施工ガイドブック、2016